

令和2年2月10日
近畿総合通信局

南海トラフ地震に備えた通信機器の搬送訓練を実施 －陸自ヘリによる通信機器の空路搬送を実施－

近畿総合通信局（局長：佐々木 祐二（ささき ゆうじ））は、南海トラフ地震等の大規模災害に備え、陸上自衛隊第3師団と共同で、総務省が貸与支援する災害対策用移動通信機器及び人員を、陸上自衛隊のヘリコプターで空路搬送する訓練を実施します。

また、空路搬送したICTユニット※を活用した情報伝達訓練も併せて実施します。当局は本訓練を通じて、関係機関との連携をより一層深め、被災自治体への災害対策用移動通信機器等の貸与やICTユニットによる通信環境構築の支援などを迅速に行うことができるよう支援体制の構築を図ります。

1 訓練日時

令和2年2月19日（水） 13時10分開始
（予備日2月20日（木））

2 実施場所

陸上自衛隊八尾駐屯地

3 参加団体：近畿総合通信局、陸上自衛隊第3師団、アイコム株式会社

4 訓練内容

① 空路搬送訓練

陸上自衛隊第3師団が主催する「令和元年度通信事業者等との協同訓練」において、陸上自衛隊第3師団のヘリコプターにより総務省が貸与支援する災害対策用移動通信機器（衛星携帯電話、ICTユニット等）を八尾駐屯地から被災地に向けて搬送する訓練を行います（今回の訓練では八尾駐屯地を離陸し、上空を旋回後再び八尾駐屯地に着陸）。

② ICTユニットを活用した情報伝達訓練

八尾駐屯地において、ICTユニットの設営訓練、Wi-Fi通信による通話訓練、災害対策本部等外部拠点との双方向通信訓練を行います。

5 時程：10:00 近畿総合通信局からアイコム（通信機器保管業者）へ搬送指示

11:00 陸上自衛隊八尾駐屯地へ搬送

13:10 ヘリコプターへ通信機器積載

13:25 ヘリコプター八尾駐屯地を離陸

13:40 ヘリコプター八尾駐屯地に着陸

13:50 搬送したICTユニットの設営及び運用訓練開始

※ ICT ユニットとは

ICT ユニットとは、Wi-Fi 基地局、構内交換機及び情報処理サーバー等の機能をアタッシュケース等に搭載し、被災地等に搬入して迅速に通信ネットワークを構築して音声通話及びデータ通信の環境を提供することが可能な移動式の通信設備です(概要については、別添資料参照)。

公衆通信網による電気通信サービスが利用困難となるような災害発生時において、全国の総合通信局等に配備されている ICT ユニットの地方公共団体等に貸与し、必要な通信手段の確保を支援します。

なお、当該機器は微弱な電波を使用するため、無線局免許を必要としません。

連絡先

近畿総合通信局 防災対策推進室

(担当：横田、渡辺、新谷)

電話：06-6942-8504

ファクシミリ：06-6942-1849

電子メール：kinsou-br_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

ICTユニットの概要

別添資料

- 「ICTユニット」(アタッチケース型)は災害時に迅速に通信ネットワークを応急復旧させることが可能な通信設備。
- 東日本大震災での教訓を踏まえて、総務省がNTT等に委託して研究開発を実施(H23~25年度)し、H26年11月に実用化。
- 被災地における必要な通信手段の確保及び支援のため、自治体等からの要請に応じて、貸し出しを実施。

<機器構成>

バッテリー (本体、Wi-Fi用)



(容量：50,000mAh)
(重量：1300g)

ユニット本体 (IP電話用構内交換機、 情報処理サーバ)



(重量：約300g)

Wi-Fi アクセス ポイント



(重量：約100g)

ゲートウェイ (外線と接続用)



(重量：約500g)

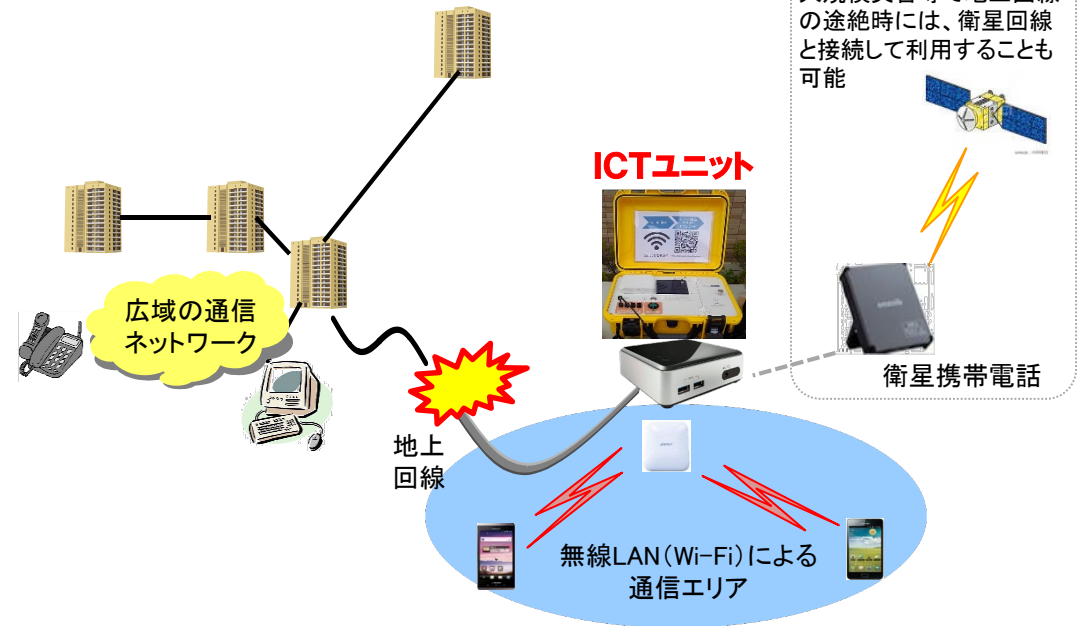
その他(電源制御回路、接
続ケーブル)



※ケースに格納

重量：約7.5kg程度

<利用イメージ>



【ICTユニット(アタッチケース型)の特徴】

- 1) 普段のスマートフォンやタブレットを活用した音声通話とデータ通信を提供(直径約100m範囲)
- 2) 衛星回線・インターネット等との接続により、遠隔地との発着信が可能
- 3) キャリーケースで持運べ、ワンボタンで利用開始が可能
- 4) 搭載バッテリー(50,000mAh)で連続8時間使用可

ICTユニットの特徴

内線通話(発信/着信)が可能

普段使っている電話番号のまま発信、受信が可能です。



普段の電話番号、電話帳が利用可能

普段のスマホ等の番号が自動登録できます。
※SIMカードがある場合に限りです

普段のスマホ等の電話帳が使えます。



ファイル共有が可能

ファイルの種類を問わず、IP-PBX内にファイルを共有・保存ができます。



○Windowsは、エクスプローラで利用可能です。
○Androidは、ES File Explorer等のフリーウェアで利用可能です。

アプリの簡単なインストール

アプリを登録していなくても、IP-PBXからダウンロードすることができます。
※Androidに限りです。

